

三夕 磐城時報

編集者 石城郡平町新屋町十四番地 印刷所 磐城時報印刷所

土地建物擔保の借金 石城で四百萬圓

一人平均二圓に當る 十年前より約五倍

石城郡内で昨年から土地建物を七圓二十四錢、安値五圓八十一錢擔保として借入した額を平稅務署、平均六圓八十六錢で秋蠶取

平町陪審資格者

平町では九月一日現在における平町陪審資格者の調査を了し監督塚谷技手その他である。

平町遙拜式

子鉄倉社頭で

平町は二日神宮式年遷宮祭につき各官衙、銀行會社、各學校は休業し全町國旗を掲揚慶祝し奉

磐城、入山、古河の 三大礦擴張計劃

好況を豫想する、常磐地方

石城郡内郡村磐城炭礦ではかねて況時代を向へる準備とも見られて工費六十餘萬圓を投じて新斜

四倉町奉拜式

四倉町では二日午前九時より同町小學校に於て神宮遷宮式の奉拜式を舉げた。

四倉市場

出廻一万六千貫

石城地方の晩秋は愈々出廻り最盛期に入つたため四倉市場

石城工學寮 寮生募集

磐城地方唯一の工業學校である石城工學寮は、寮生募集

間、午後六時から同九時半迄で授業は一ヶ月一圓、講師その他

▲寮長諸橋守次、主事兼講師 吉田賢吉、講師工學七浦口貞

▲寄附金送附 平町第一 傘をかけるため高さ一尺五寸の

▲小學校に寄附 四ツ 倉町字田戸須藤ヒデ子氏は九月

大浦の共同販賣成績

地方米價より遙に高い 開始以來の成績調へ

大浦村信用組合經營の農業倉庫在木炭價格左の如し。

▲校旗を寄附 平商業學 校商友會ではこの程母校に校旗

▲逃走藝妓捜査 水行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲共謀して盗む 石城 郡内郡村の七面會の合宿所土橋

▲北部衛生掃除 四倉 警察署管内秋季清潔法日割如左

▲水産商業校 修學旅行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

▲大浦校運動會 大浦 村小學校に於ては来る十八日秋

▲木炭價格 濱三郡の 濱三郡木炭同業組合に於ける現

机を踏臺として 妊娠女が轉落 腸出血のため死亡

石城郡内郡村大字高坂字館野居め死亡した、平署から七海部長

▲小學校に寄附 四ツ 倉町字田戸須藤ヒデ子氏は九月

▲北部衛生掃除 四倉 警察署管内秋季清潔法日割如左

▲水産商業校 修學旅行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

▲大浦校運動會 大浦 村小學校に於ては来る十八日秋

▲木炭價格 濱三郡の 濱三郡木炭同業組合に於ける現

▲校旗を寄附 平商業學 校商友會ではこの程母校に校旗

▲逃走藝妓捜査 水行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲共謀して盗む 石城 郡内郡村の七面會の合宿所土橋

▲北部衛生掃除 四倉 警察署管内秋季清潔法日割如左

▲水産商業校 修學旅行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

七月以來窃盜二十七件を働いたこと發覺平署で手配中三十日捕

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

▲大浦校運動會 大浦 村小學校に於ては来る十八日秋

▲木炭價格 濱三郡の 濱三郡木炭同業組合に於ける現

▲校旗を寄附 平商業學 校商友會ではこの程母校に校旗

▲逃走藝妓捜査 水行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲共謀して盗む 石城 郡内郡村の七面會の合宿所土橋

▲北部衛生掃除 四倉 警察署管内秋季清潔法日割如左

▲水産商業校 修學旅行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

▲大浦校運動會 大浦 村小學校に於ては来る十八日秋

▲木炭價格 濱三郡の 濱三郡木炭同業組合に於ける現

▲校旗を寄附 平商業學 校商友會ではこの程母校に校旗

▲逃走藝妓捜査 水行 四倉水産商業補習學校三年生は

時報文藝 秋でした 丘 浩二

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

▲大浦校運動會 大浦 村小學校に於ては来る十八日秋

▲木炭價格 濱三郡の 濱三郡木炭同業組合に於ける現

▲校旗を寄附 平商業學 校商友會ではこの程母校に校旗

▲逃走藝妓捜査 水行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲共謀して盗む 石城 郡内郡村の七面會の合宿所土橋

▲北部衛生掃除 四倉 警察署管内秋季清潔法日割如左

▲水産商業校 修學旅行 四倉水産商業補習學校三年生は

▲四倉校運動會 四倉 小學校では十五日同校庭に於て

▲大浦校運動會 大浦 村小學校に於ては来る十八日秋

▲木炭價格 濱三郡の 濱三郡木炭同業組合に於ける現

▲校旗を寄附 平商業學 校商友會ではこの程母校に校旗

▲逃走藝妓捜査 水行 四倉水産商業補習學校三年生は

原町通信

眞綿講習會 相馬郡農會主催で来る五日より同郡石神村石神に於て五日間の豫定で講師は森藤シゲノで講習生は約三十名なりと。

相馬神社大祭 中村町縣社中村神社の秋季恒例祭は十月一、二兩日に亘りて執行されたが本年は屋根替五十一年に相當するので一日は午前十時より御輿の渡御先づ大手先より上町、荒井町、停車場通りから榮町、袋町を下り原釜に出で休憩の上向町、清水町を経て還御せしが、當日の余興は二の九グランドに奉納競馬、神樂、擊劍等あつた。

養鶏講習會 相馬郡農會主催にて来る十月六日午前九時より午後四時縣立相馬農畜學校に於て養鶏講習會を開催する事となつたが講師は日本養鶏家の泰斗高橋廣治先生で同日は養鶏實際を講習する筈で會費は五十錢、申込は同校石原教諭宛男女を問はず何人も聴講する事が出来る。

町有土地賣買問題 原町町有地處分問題にて過日の町會で議員間に議論沸騰を極め、果ては泥棒呼はり迄した結果調査委員七名を擧げて賣買當時の不正の点なきか否かに就き調査を進めつゝあるが其顛末を次回町會に於て中野文太委員長より報告するとの事だが之れに就て一般町民はどの程度迄調査報告するかを大に注目して居る。

新田川の鮭漁 相馬郡原町の北端を流るゝ新田川は四十余年より鮭の豊漁地として其聲遠近に響きつゝある事は今更特記するまでもないが、本年も茲兩三日前

り初漁を始めたが今秋は水量と期候と相俟つて居るから豊漁は疑ひなき模様であるが、先づ盛期は十月下旬頃と見て居るが漁獲場には料理店出張して鮮魚の料理をなすは例年と同じであらう。

三人殺しを逮捕するまで 小田部警部(寄)

(四) 屍体の下には衣類、敷布、古蚊帳等散らかり、屍体の上には衣類を以て屍体を見えざる程度に被せてある、其の右脇には四女マツイが頭部を北向顛頂部を強打されて倒れて居る、顛頂部の横座に當る所に五拾錢銀貨が二枚あり、椽の上り口には唐鍔一挺と、背負棒一本とが何れも血痕が着いてあり、小屋の土間の隅には鏡片なる銅や斧など數挺あつたが手も軋れた形跡がなかつた、小屋内には一段高い所に米櫃、食器箱、鍋及一升入の酒瓶數本と茶器、衣類、布團、枕、蚊帳その他雜品が散らして小屋内一面に血痕が散らして格闘した様な形跡がある。

五、犯罪の方法 鈴木醫師解剖の結果前記推定日時頃に現場にある唐鍔及背負棒を以て頭部を強打し殺害したるものなる事が明らかとなつた。

六、被害の有無及捜査の状況 被害品の有無に就いて調べるに、礎の上に五拾錢銀貨二枚を、礎の上の現現金五圓余入れの蓋口は片隅の石油空箱中から発見し奪取せられたる形跡は更に無い、只小屋の外にあつた行李の外面には点々として血痕の附着してある点から判断するに、賊は犯行後物取り又は夫婦喧嘩を装はしめんが爲め搬出したものゝ様にせられたが、其の他は單に散らしたるのみで、金品を捜査したる模様がない。

蓄音器でたなじみの：紺屋高尾で名高き日本浪界第一の人氣者 篠田實大一行 近日當地某館へ來演す

牛豚肉廉賣 秋—みのる秋!!肥ゆる秋!!! 愈々食肉のシーズンは来る 精力と体力の増進を計るは今!!!

深谷牛豚肉店 前(元平劇場入口) 電話五二四番

牛	中	上	豚	同	同	同	同	同	平
肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉	肉
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百
廿	廿	廿	廿	廿	廿	廿	廿	廿	廿
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

伊勢崎 八王子 足利 優秀新柄銘仙陳列 於階上 十月三日ヨリ 七日間

秋冬物新柄特選 陳列と実用品特賣

モスリン着尺 入選新柄陳列 於新館

モスリン友仙

三井呉服店

腸胃 専門 村松 内科 腸胃病 胃腸病 腸胃病 胃腸病

毒梅 皮膚病 専門 院 醫科 (七〇一話電)

鳥御料理 江戸前 鰻御料理 仕出しは迅速配達致します 平町南町平館隣り

蒲燒魚 榮 電話四二四番

驚いた!!! こうまで安いとは 平・加納活版所の印刷物

山崎合名會社 東京支店 上野車坂四三二 電話(營業部専用)一〇七番 (一般用)一〇七番 振替東京一九七五五番

錦秋の映畫戦線に堂々巨弾を連ね獨り角頭を抜く大陣容 十月四日ヨリ 特別大興行

蜂須賀水六

松竹提供・意氣昂る常勝將軍 阪東妻三郎捲土重來の大活躍 劍史 銀蛇 全

生...必しも生ならず。死...必しも死ならず。冷ゆれば水山の如く、熱すれば噴火の如く...死の彼方に人生の意義と更生を求めて華と散る情熱兒の血涙記ではある。

純真な涙の乙女の心情を描く笑と涙の殉情詩 栗島すみ子が得意の情趣篇 (青春の小徑・姉妹篇)

海濱愛のゆく末全 演に育つた娘として栗島すみ子が獨りた境地を示す笑と涙に満ちた詩情豊かな一篇の海濱哀話ではある、劇中安來節を取り入れ其効果を一一段と見せる近來の傑作大日活會社が多額の費用と時日を犠牲に製作せる本邦最初の 百二十パーセント級 發聲映畫 正に完成

東北地方公開權は 當館唯一

時代映畫(長江半之丞の巻) 連 料(特等)大六〇・小三〇 (普通)大四〇・小一〇〇

平 館